

「子供の心を育てる一声を」

「 就任のご挨拶 」

和歌山市立少年センター長 山本 賢

木々の緑が日ごとに色を深めていく昨今、皆様には未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

日頃は少年センターの活動に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年度の人事異動で、和歌山市立少年センター長を拝命されました山本 賢と申します。何分微力ではありますが、関係者の皆様方のお力添えをいただきながら、与えられた職責を全うすべく頑張ってお参りたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今日の青少年を取り巻く社会の変容は、私たちの想像をはるかに上回っており、子供達を取り巻く状況は極めて深刻であると感じています。これらの背景には、様々な要因（家庭環境・社会環境・ネット環境等）が相互に絡み合い、より複雑化・多様化していると考えられます。その上、現在のコロナ渦のなか、コロナと共存する生活様式を守る中で、様々なストレスが社会・家庭・学校現場等に蓄積され、問題化してきております。

本年度も少年センターでは、子供達が安心して暮らせる街、子供達が輝き、笑顔が絶えない街を目指して、少年補導委員の方々をはじめ、関係機関や関係諸団体の皆さまのご協力とご支援のもと、街頭巡回、青少年の非行防止、有害環境の浄化、各種相談活動、情報モラル教室や薬物乱用防止教室などの啓発活動等を進めていく所存です。職員一同今まで以上に子供たちの健全育成につながりますよう尽力を尽くしてまいります。今後一層のますますのご指導ご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げ、私の就任のあいさつとさせていただきます。



特別街頭啓発活動

5月8日(土)、繁華街や大型商業施設、ゲームセンター、カラオケボックス、その他遊戯場等で遊んでいる児童・生徒に対して非行や問題行動等が起こらないようにすることを目的とした街頭啓発を、本来ならば小学校・中学校・高等学校の生徒指導(生活指導)担当教員等のご協力を得ながら少年センター職員との合同で実施する予定でしたが、密を避ける等新型コロナウイルス感染防止の観点から、少年センター職員のみでイオン、プラクリ丁周辺、ラウンドワン等を巡回パトロールさせていただきました。



新型コロナウイルス感染症が落ち着けば各学校の先生方にもご協力をいただき、従来通りの形態で実施していきたいと考えております。その節はご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

夏期特別水辺補導

今年もたいへん暑い夏がやってきました。水難事故を防ぐために少年センターでは、恒例の水辺補導を下記の日程で実施します。各学校や地域におかれましてもご指導をお願いいたします。

日時	場所	日時	場所
7月21日	加太海水浴場	8月2日	片男波海水浴場・秋葉山プール
7月26日	マリーナシティ	8月3日	加太海水浴場
7月27日	磯の浦海水浴場・河西プール	8月4日	マリーナシティ
7月28日	片男波海水浴場・浪早ビーチ	8月5日	片男波海水浴場・波早ビーチ
7月29日	雑賀崎・和歌浦	8月6日	磯の浦海水浴場・河西プール
7月30日	マリーナシティ		

戎 浩晃



〈少年センターに配属されて〉
中学校勤務で生徒指導主任をしていたときに、少年センターの先生方には大変お世話になりました。情報モラル教室、薬物乱用防止教室等の出前授業はもちろん、学校での出来事の相談、少年相談など、学校外の機関に相談できたことで、当時、たくさんのアドバイスをいただきました。

今回、私自身が少年センターに配属されたことで、学校の先生方の悩みや困っていることにどれだけ手助けできるのか、どんなことをしていけば学校の助けになるのかを考えながら、活動していきたいと思います。

新任職員紹介

高橋 美都理



4月より、6年間所属しておりました、保育こども園課より移動してまいりました。少年補導委員関係を担当することになり、今までとは全く違った仕事内容に日々奮闘しております。

周りの方々に助けられながら頑張っております。今後も、色々ご指導を賜りながら、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度少年センター職員構成

	令和3年度	令和2年度
少年センター長	山本 賢 有功中学校より	中平滋之 (市立和歌山高等学校へ)
専門教育監補	戎 浩晃 学校教育課より	西嶋直樹 (学校教育課へ)
専門教育監補	田中宣行	田中宣行
事務担当	南 和代	南 和代
事務担当	高橋美都理 保育こども園課より	出光拓都 (河西サービスセンターへ)
教育指導員	中井伸哉	中井伸哉
教育指導員	和田幸治	和田幸治

*この他に市内3署(西警察署・東警察署・北警察署)より派遣警察官が配置されています。

令和2年度 活動報告

和歌山市立少年センター〔令和2年4月～令和3年3月末〕

1 補導活動状況

補導活動	内 容	回 数
特別街頭補導	中高等学校教員と同行	4
街頭補導	センター職員のみ	90
特別一斉街頭啓発	小中高等学校教員と同行	0
登校時補導	センター職員のみ	38
特別補導（夜間・祭り・卒業式等）	センター職員のみ	14
水辺補導	センター職員のみ	10
合 計		156

2 調査研究

① 問題行動（小・中・義務教育・高等学校）

項 目		小学生件数	中学生件数	高校生件数
不良・ぐ犯	飲 酒	0	3	1
	喫 煙	0	13	34
	怠 学	57	297	29
	粗暴行為	11	130	22
	深夜徘徊	2	34	1
	いじめ	245	97	3
刑罰・法令違反	暴 行	3	11	9
	傷 害	2	1	0
	器物損壊	9	18	2
	窃 盗	26	6	17
	その他	14	4	8

② 不審者情報（小・中・義務教育・高等学校）

件数 159件

※件数と合計が違うのは複数の具体的行為があるため

具 体 的 行 為	小学生	中学生	高校生
1 声をかけられる	34	16	8
2 見せられる	1	2	1
3 写真を撮られる	15	11	13
4 つけられる	17	17	11
5 さわれる（強制わいせつ）	5	1	4
6 暴行を受ける	2	1	0
7 その他	20	9	5
合 計	94	57	42

3 少年相談 ※相談件数（ ）は保護者内数

学校種別	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
件数(保護者内数)	21 (11)	39 (5)	1 (1)	2 (2)	63 (19)

4 広報啓発活動 ※青色回旋灯装着車による安全パトロール実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数(件)	22	19	31	15	16	14	17	12	14	17	12	23	212
実施小学校区(校)	104	85	192	120	127	93	106	89	81	112	78	91	1278

5 教室・講演実施状況(小・中・義務教育・高等学校・その他・保護者・教職員等)

※上の数字は実施学校数、()の数字は授業を実施した時間数を表す。合計が違う場合は、授業参観等で児童と保護者が合同で教室を実施した場合や、児童・生徒と保護者・教職員が別々に実施した学校等があるため。

教室・講演名	受講人数	小学校 (時間数)	中学校 (時間数)	高校・その他 (時間数)	保護者・教職員等 (時間数)	実施合計 (時間数合計)
情報モラル教室	5 2 8 2	2 6 (5 2)	8 (1 6)	3 (3)	8 (1 2)	4 0 (7 3)
喫煙・飲酒 薬物乱用防止教室	3 1 1	3 (4)	2 (3)	1 (1)	0 (0)	6 (8)
非行・いじめ防止教室	1 7 1	3 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (6)
その他(研修・講演等)	3 7	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
防犯教室 ※警察と連携して実施	1 0 1	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合 計	5 9 0 2	3 3 (6 3)	1 0 (1 9)	4 (4)	9 (1 3)	5 1 (8 9)

6 「少年センターだより」発刊状況

月	4月号	6月号	8月号	10月号	12月号	2月号
発刊部数	6 5 0 部	6 5 0 部	6 5 0 部	6 5 0 部	6 5 0 部	6 5 0 部

7 主な連携機関との会議

和歌山市学校・警察補導連絡協議会 和歌山市中学校生徒指導教育研究会 和歌山県少年保護関係機関会議
 和歌山市要保護児童対策地域協議会 和歌山市小学校生活指導教育研究会 和歌山市少年補導委員会
 第2ブロック生徒指導連絡協議会 和歌山県青少年(補導・相談)センター連絡協議会 他

8 環境浄化活動

① 環境浄化職員活動実施状況

活動内容	回数	立入店数
有害図書に関する活動	3 7	6 1
DVD・タバコの自動販売機に関する活動	5 0	1 2 7
その他	0	0
合 計	8 7	1 8 8

② 小・中・義務教育・高等学校社会参加活動実施状況

活動内容	実施回数	参加学校	校数	人数
マナーアップキャンペーン		小学校		
児童虐待防止		中学校		
未成年飲酒防止啓発		義務教育学校		
薬物乱用防止啓発		高等学校		
環境美化活動		合計		
犯罪防止等啓発				
喫煙防止キャンペーン				
その他				
合 計				

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度はすべて中止